

## 高橋しんごの履歴書 ～政治活動の始まり編～

28年前の阪神・淡路大震災。高橋しんごは当時、大阪大学医学部の大学院生でした。

私の所属する「公衆衛生学」教室は病気の予防を支える学問の府。神戸市役所から健康づくりのための仕事を任されており、私も住民健康診断のデータを解析して、脳卒中やがん、歯の健康づくりのアドバイスを行っていました。大震災の発生2日後。私は三宮の神戸中央保健所に派遣され、避難所・救護所の環境整備や保健師さん達の支援、そして保健所の活動を記録する為に1か月間を超える泊まり込み支援を行いました。この記録が元となって、国の震災時における公衆衛生活動マニュアルがまとめられました。

これが契機となって、平成9年から5年間、高橋しんごは神戸市保健所の予防担当の医系技官として住民の命と健康を守る仕事につき、政治課題としての予防医療政策の重要性に改めて気づき、政治の道を志すようになりました。震災直後の三宮の中央保健所から、私の政治活動は始まったのです！

## 高橋しんごの履歴書 ～県会議員として 「兵庫県健康づくり条例」制定編～

平成19年の県会議員選挙で初当選（東灘区）した高橋しんごは、ライフワークを「住民の命を守る政策の実現」におき、「予防・医療政策の充実」を1丁目1番地の政策課題として活動してきました！平成23年には、全国初となる、「からだ」と「こころ」と「歯と口」の健康を三位一体で推進する「兵庫県健康づくり条例」の制定にこぎ着けました！また、その後、働き盛り世代に対する大切な健康づくり支援として、「健康づくりチャレンジ企業」制度も開始されました。議会活動、政治活動大切さを感じ、議員としての大きなやりがいを感じました。また、初当選から一貫して「子どもへの投資は将来への投資」を掲げ、「子育て世代の経済的負担軽減策」を訴え続けてきました。「予防・医療・福祉政策」と「子育て支援策」は高橋しんごの二枚看板です！

## 公衆衛生のプロとして、 県政に予防医療を強く訴えていきたい

2019年の年初から続くコロナ禍はようやく出口を見出したかのようです。この間、住民の生活不安は増大し、諸外国との交流は途絶え、インバウンド観光客はゼロになり、神戸経済も沈滞しました。大阪での公衆衛生活動の失政で明らかになりましたが、保健所や公衆衛生研究所をリストラした結果、PCR検査は滞り、病院では重症者に対応するベッドの不足、医療体制のひっ迫状況が改善されぬ状況を招きました。

大坂では、2007年から2019年の間に医師や看護師などの病院職員数は50.4%削減、衛生行政職員数は24.1%も削減されました。コロナ禍での100万人当たりの死亡者数は、全国平均5.8人に対し、大阪では9.5人で全国最悪ワースト1です。政治が住民の命を守らなかった最悪のモデルでしょう。

ワクチン接種も大事なポイントですが、私は予防政策のプロとして、平常時からの健康危機管理体制をしっかりと整備することを一貫して提言しています！



公衆衛生のプロとして、  
県政に予防医療を強く訴えていきたい

# しんご新聞 春号

2023年3月

元 兵庫県議会議員  
高橋しんご

神戸市中央区北長狭通2-30-42ピアザ神戸  
TEL 078-331-3885  
http://shingo-takahashi.net/

## 県会議員3期の実績で中央区から県政に発信！

- 高橋しんごが中央区から発信する住民目線の政策
- 高橋しんごの履歴書～政治活動の始まり編～
- 高橋しんごの履歴書～県会議員として「兵庫県健康づくり条例」制定編～
- 公衆衛生のプロとして、県政に予防医療を強く訴えていきたい

### 医療人の目を持って小さな声を聞き、地域とともに生きる

私、高橋しんごは予防の歯科医師になりたい少年でした。大学、大学院時代に予防医療の大切さに目覚め、人の命と健康を守る「社会の医者」として生きることを選びました。神戸市役所での医系技官を経て、政治を通じて社会の様々な課題を治したい、地域の人々の小さな声を拾い、大きく社会を変えていきたいと政治の世界に飛び込みました。県会議員の活動を通じて、念願だった「兵庫県健康づくり条例」の制定が実現し、「人々の力で政治を変える、自分たちのまちを自分たちで創ることができる」ことを実感しました。

いま、中央区は三宮・元町再整備や港・空港の問題、少子高齢化と一方で中心地への住民増加の問題などが山積しています。これまでの経験をふまえ、全力で県政にぶつかります！

### プロフィール

昭和43年2月25日生まれ

東北大学歯学部卒業

大阪大学医学部大学院修了(医学博士)

平成19年～平成30年 自民党兵庫県会議員3期

第125代兵庫県議会副議長



ホームページ





高橋しんごが  
中央区から発信する  
住民目線の政策

100年後の街を見すえた、三宮、元町・県庁界隈  
の再整備を一刻も早く行うこと

現在、三宮では歴史的な再整備の計画が進行しており、兵庫県でも神戸市に対して多額の経費負担をしています！元町・県庁周辺には、老朽化した県庁舎に加え、建築後40年～50年を経過する兵庫県民会館や神戸総合庁舎等の施設が点在しています。また、大倉山周辺の「文化ゾーン」でも体育館や文化ホールなど公的施設が廃止を検討されていますが、その後の活用や整備については議論が進んでいません。元町・県庁周辺の再整備については、斎藤知事就任後、それまで検討されていた議論が凍結されたままです。婦人会や地域の商店街からも強く要望が出されています。これまでもずっと指摘されてきた、元町駅を軸とした南北の人の回遊性の向上などの課題とあわせ、県と市が協調して100年先の街づくりをみすえた再整備の検討を一刻も早く進めるべきです！

- ☆歴史的な一大事業である三宮再開発の進展
- ☆老朽化して危険な県庁舎の建て替えと周辺地域の再整備
- ☆大倉山文化ゾーンの有効活用と再整備
- ☆元町駅の南北交通の改善と回遊性の向上



防災拠点の整備を万全に！

海と山に囲まれた神戸は、自然と共生する街ですが、歴史的には豪雨災害に悩まされ、そして南海トラフ地震を考慮した海への対策も必要な地域です。神戸には、阪神淡路大震災からの教訓を後世に伝え、世界に発信する防災拠点として、HATに「人と防災未来センター」があります。山・海の恵みを楽しみつつ、一方ではリスクにきちんと対応する為に、大切な防災拠点を活かし、地域の消防団を支え、ハードのみならず

ソフト面での防災対策を万全にして、いつ来るとも分からない災害に対処しましょう。

- ☆人と防災未来センターなどの防災拠点を活かす
- ☆消防団など、地域の防災力をしっかりと支える

中央区のドーナツ化現象後の対策をしっかりと！  
「異次元の子育て支援を」

都心からの住民の流出～いわゆるドーナツ化現象は中央区でも大きな課題でした。人口減少に対応するためとして、小学校の統合などが進められ、こうべ小学校区では3つの学校が統合され、子どもたちは広い地域から登校しています。しかし近年では、都心部・ベイエリア中心にマンション建設が進み、都心への人口回帰が進んでいます。人口減少どころか、逆に人口集中に対する施策に舵を切る必要があります。以前のドーナツ化現象を前提とした施策では到底対応できません。安心して住まいし、子育てできる環境づくりが求められています。

高橋しんごは、県会議員として一貫して子育て世代への大胆な支援策を求めて、県当局と議論を戦わしてきました！子どもへの投資は将来への投資！明石市でも取り組まれてきた医療費の無料化や子育て世代の養育費の負担軽減策を、より大胆に取り組むべきです！

また、街開きから40年が経過したポートアイランドの活性化も大きな課題です。計画人口2万人でスタートしたアイランド、人口の高齢化と人口減少、マンションや施設の老朽化、そして商業スペースの活性化が大きな課題となっています。神戸市では2022年から「ポートアイランド・リボーンプロジェクト」を開始し、将来計画を策定することとしています。神戸の世界への玄関口でもあるポーアイ。活性化が強く望まれます！

- ☆都心の人口回帰・人口集中に対する施策の充実
- ☆医療費の無料化を始めとする子育て世代の負担軽減策を大胆に！
- ☆幼保・小学校の過密化対策
- ☆スポーツや部活の場所を確保
- ☆ポートアイランドの活性化



神戸港を「人の流れのハブ港に」  
神戸空港の関空代替機能の大幅強化！



神戸港と神戸空港の未来像を提示すること！  
～神戸経済の活性化には必須～

神戸港と神戸空港を有する中央区は、神戸市・兵庫県のみにならず関西一円を代表する窓口です！震災以降、アジアのハブ港湾としての地位をすっかり奪われてしまった神戸港のにぎわいを取り戻すこと。最近人気を高めている宮崎フェリーもそうですが、「人の流れのハブ港湾」として、大阪万博を好機とした「海の道路」～クルーズ線や瀬戸内、淡路島などへの路線の開拓など、フェリー網の充実が望まれます。

そして、そもそも国際空港である関西空港として整備すべきだった神戸空港は、ご承知のように搭乗口が4つのままで、中途半端なままです。関空の一日離発着回数が30万回となる現在、神戸空港の代替機能が求められています。ターミナルビルの再整備も計画されています。「港」と「空港」、神戸経済の浮沈を左右する大きな大きな財産を、県と市が協調して大きく育てることが何よりも重要です。

あわせて、長い時間をかけてようやく工事が始まった阪神高速湾岸線の西伸部（六甲アイランド～湊川）についても、兵庫県は神戸市負担の1/2を補助しています。県市協調で大切なハード面の整備を進めましょう！

- ☆神戸港を「人の流れのハブ港に」
- ☆神戸空港の関空代替機能の大幅強化！
- ☆阪神高速湾岸線西伸部の迅速な進展

地域商業の活性化！

高橋しんごが県会在任中の平成27年10月に、私たち県会議員の発議による兵庫県の「中小企業の振興に関する条例」が制定・交付されました。中小企業の振興が、県政の最重要課題の一つであると高らかに宣言したものです。その一方で、商店街の理事長さんや関係者からのお声を伺うと、条例の趣旨に基づいた地域商店街の振興策が十分になされ活性化が図られているとは言い難い状況です。中央区にはセンター街やさんちかななどの中心商店街と、宇治川・春日野道・大安亭など地域商店街が多く存在しています。地域商業の活性化は地域の力を高めます！若手起業家の参入を後押しする補助施策の充実を含め、一層の商店街振興を進めましょう。

- ☆県の条例を活かした地域商店街の振興策の充実を！
- ☆若手起業家が参入しやすい補助メニューを！

